

## 学園卒業生組織の新体制について

桜美林学園同窓会の会員は、旧高等女学校、中学、高校、短大、大学、大学院まで、幼稚園以外すべての卒業生になり、卒業生同士の親睦、母校の発展に寄与することを目的としています。

一方、2019年に学園主導で設立された大学校友会は、短大・大学・大学院の卒業生を中心に、在学生、教職員など大学に関わる方々の親睦と在学生の支援、母校の発展を目的にしており、2022年一般社団法人になりました。ホームカミングデー、ビジネス交流会の開催、学生の就職を始め、卒業生同士の職域毎の繋がり構築にも力をいれています。また、昨年からは同窓会と協働で、まだ支部が設立されていない地域、たとえば埼玉、静岡で地位交流会を開催し、今年は長野でも計画しております。

近年、支部のリ・ユニオンに参加すると、卒業生の皆さまから、学園同窓会と大学校友会の違い、役割分担等の質問を受ける機会が増えるようになりました。これはつまり桜美林学園の同じ設置校を含む卒業生組織が複数存在することは、非常に分かりにくいという事です。分かりやすい卒業生組織とするためには、同窓会としての重要課題である、地域、職域、その他様々な卒業生ネットワーク作りのためにも、同窓生の母体となる卒業生組織を一本化して効率的な運営を行っていくことが必要です。そのためここ数年、特に直近1年、学園、校友会と十分に議論、検討を重ね、2019号同窓会だよりも掲載させて頂きました新しい組織で再出発することになりました。

具体的には「桜美林学園連合同窓・校友組織」を新設し、そのアンブレラのもと「一般社団法人大学校友会」、そして新たに「中高同窓・校友組織」を設置致します。会社組織でいうホールディングス制を採用し、重要事項、調整事項については新設する「連合同窓・校友組織」が担当し、各設置校の「同窓・校友組織」は事業会社として独立性をもって各設置校卒業生対象事業（例えば、大学全体事業、中高全体事業、クラス、学年、学部、学群、ゼミ、クラブなどの事業）を行います。中高卒業生は、新設する「中高同窓・校友組織」に所属し、短大、大学、大学院卒業生は、既に設置されている大学校友会に所属いたします。中学から大学まで卒業された方は、両方の組織に所属することになります。

なお、リ・ユニオン、賀寿礼拝等の学園全体イベント、地域支部、職域別活動、学園同窓会だよりの発行については、「連合同窓・校友組織」のもと、タスクホースとして両設置校の同窓・校友組織が合同で企画、催行、発行致します。

立ち上げから数年の間は、両団体の財源、予算、組織、活動がある程度落ち着くまでは提携期間とし、5年以内に学園連合同窓・校友組織を一般社団法人化して、総合予算管理、重要事項意思決定、事務統括等を行い、完全統合を目指します。

これに伴い、68年の歴史を有する学園同窓会は、今年度の活動、収支決算をもって発展的に解散いたします。34人の役員も、それぞれの設置校卒業生組織で引き続きご活躍いただく予定です。

また、連合同窓会、各設置校共通の名称を公募いたします。たとえば慶応三田会、一ツ橋如水会、早稲田稲門会といった全ての卒業生が共有できる名称を決めたいと考えております。

なお、先ほど財務報告にございました学園同窓会の基金、預金については、今年度の決算をもって一度凍結し、学園連合同窓・校友組織立上後に、全額を移管いたします。

このような形での総会は今年が最後になりますが、来年以降も学園全体事業の一つとして、リ・ユニオンも存続いたします。更にパワーアップした新しい形で、皆様にご案内できると思っております。

中高卒業生組織については、本日桜カフェにて発会式を予定しておりますので、お時間がある方々は是非ご参加いただければと思います。

以上、卒業生組織の説明とさせていただきます。

2024年6月15日  
会長 山本 美浩